



まちづくり委員会総会と第1回市民会議について

魚沼市まちづくり委員会 副会長 関 良 則

上記総会と市民会議が70名を超える参加者を得て、6月9日に小出郷文化会館小ホールで開催しました。23年度の活動報告、24年度の活動方針等を発表の後、市長への提言を行いました。

「官民協働のシステムは着実に歩を進めていると感じています。提言は重く受け止め、できることからやって行きたいと考えています。」と、大平市長の挨拶と返事をいただきました。

第1部の基調講演は長野県小布施町長の市村良三さん、魚沼市へは4年ぶり2度目の講師でした。小布施町では「協働と交流のまちづくり」を主要施策のひとつにしていますが、



「町民との協働が最も大事だが、専門家との協働、地場企業との協働、町外優良企業との協働を加えて4つの協働を具体的に進めている。」

「交流力は小布施の強みであり、産業に繋げる交流を進めている。」というお話をされました。

小布施町と魚沼市は同時期に「まちづくり委員会」が誕生しましたが、誕生に当たっては多くの住民が互に行き来して、多くのことを勉強しました。そんな経緯もあって、市村町長さんも魚沼市に特別な親しみを感じていてくれるようで、「非常に分かりやすかった。」

「いろんなヒントをいただきました。」「まちづくりに大いに役立つと思った。」など、参加者は熱心に基調講演に聞き入っていました。

基調講演後の第2部パネルディスカッションには、元北魚沼合併協議会事務局の中川太一副市長、NPO法人魚沼交流ネットワークの桑原副理事長、まちづくり委員会の平井会長がパネラーとして参加し、「合併後10年へこれからのまちづくり」をテーマに行いました。コーディネーターはまちづくり委員会アドバイザーの広島経済大学教授の川村健一さんが務めました。

「災害に明け暮れた8年間だったが、原点に帰って話し合うことも必要ではないか。」

「地域力の減退を心配した。地域の声をどうトップにつなげていくか。」

「若い人が住みたくなるまちづくりを進める必要がある。」など、真剣な発言が続き、「魚沼市には自然力や市民力の高さを感じる。今後も小布施と交流を深めていただきたい。」

と市村町長さんにありがたいお話をいただき、「まちづくりの大切なポイントは楽しむこと。これでいいということはない。魚沼流でやり続けることが大切。」と川村教授の示唆をいただいて終了しました。内容も有意義であり、参加者のアンケート結果を見ても概ね好評だったようです。

まちづくり委員会ではこれからも市民の皆さんの糧となる市民会議を開催していきたいと考えています。

(詳細は、まちづくり委員会のホームページで公開)



市民会議 (基調講演)



各部会の活動状況

生活 自然環境 部会

新年度になり新しいメンバーも加わり会議がもたれています。
まちづくりに対する考えも様々ですが、今年から自分のやりたいことを企画提案して進める方法を取り入れています。
現在、昆虫や里山に関する提案が出ています。一緒に考えたり活動できる方はぜひ参加してください。



6月に植えた井口新田の花壇は田上新聞店さん、明治乳業さんの協力も得て育ちましたが、あまりの暑さ続きで枯れ始めました。9月1日に朝活動で花壇の手入れを行いました。秋に片づけて球根を植える計画です。

来春は多年草とか、ハーブ、ユリなど植える案もあります。興味のある方はご参加ください。

花いっぱい運動を市内全域にひろげましょう！



福祉健康 部会

★市民の参画を求む!★

まちづくり委員会は、今年度より各部会で小グループでの活動をスタートしました。これは、委員が自分でやりたいことをリーダーとして企画提案して進めていく方法です。今回、福祉健康部会の小グループ活動について取り急ぎご案内します。

提案書の提出は、次回の部会会議に予定されていますが、今のところ下記のような企画提案がなされています。

- 「結」地域通貨券の研究(新地域経済)
- スポーツリーダーの育成
- 空き居酒屋など新たな価値の創造
- 空き家・空き耕地を活用した交流
- 高齢者とともに地域づくり(高齢者になっても地域のためにお手伝い)
- 高齢者が外出しやすい環境づくり(福祉交通だけでは限界がある)
- 住み慣れた地域最後まで(ベビーブームの人たちの老後への取り組み)
- 「魚沼心の駅」オープン(やさしい心でおもいやり)
- 出前健康講座の開催



福祉健康部会では、関心のある市民の参画を求めています。企画提案が新しい価値を生み、魚沼市民の満足度を高めることで、元気な魚沼市を目指します。

みなさんも、どんどん参加して提案をしてください。

まちづくり委員会 役員紹介

平成24年6月9日の総会において、下記のとおり役員が承認されました。

会 長	平 井 正 尚	生活自然環境部会長	森 山 右 文
副 会 長	関 良 則	福祉健康部会長	遠 藤 重 文
副 会 長	葺 澤 芳 子	教育文化部会長	桜 井 俊 幸
		地域産業振興部会長	長 尾 政 利

よろしく
お願いします。

教育文化 部会

教育文化部会は、定例会を毎月約1回のペースで開催し、勉強会・意見交換などを行っています。

7月、8月の部会では、子育て中の方々からも参加いただき、子育ての現状や課題について意見交換をすることができました。

また今年1月15日には、目標の一翼でもある「伝統文化を継承する運動」（小正月行事の定着）の一環として小正月の行事イベントを開催し、広神地域今泉地区の方々と一緒に、賽の神を体験させていただきました。今後もこれらの目標（下記参照）に向け活動し、実りあるものにしていききたいと思います。

部会の今後の活動としては、今までのものだけでなく、新しい活動テーマを皆さんから提案していただいているところで、それらを合わせて、勉強会や意見交換などを重ね、何かしら形のあるものにしていければと思っています。

少しでもご興味・ご意見などありましたら、ぜひご参加ください。

参照：平成23年度「魚沼市まちづくり委員会総会」での教育文化部会提言

伝統文化を継承する運動〔魚沼市の休日(小正月1月15日)を定め伝統行事を定着)うおぬま寺子屋の創出〔地域コミュニティ教育のしくみづくり〕



地域 産業振興 部会

5月15日(火) 市内(福山)の「峠の雪室」を視察しました。

雪室とはいかなるものなのか、新たな利用価値を探るべく、まだ雪の残る福山へ視察に行ってきました。

雪を入れておくスペースが大半の為か、建物が大きい割に雪室自体は、意外に小さかったです。湿気対策にビニール袋に入れた米などもあり、利用者が工夫、研究している様子うかがえました。雪を貯めておくスペースには、桜の枝も保存されており、少し遅れた桜の花を見ることができました。花の咲いた枝を、少し分けてもらったので、女性の参加者は大変喜んでいました。



峠の雪室



雪室内部

6月9日(日) 第一回まちづくり市民会議では、「雪深い魚沼の気候、風土、伝統、文化に根差した地域産業の振興、発展を考えていく事」を提言書として提出しました。

これらについて、部会で前向きな意見を出し合って検討しています。毎月一回公開で開催していますので、興味のある方、良いアイデアをお持ちの方は、ぜひお気軽に参加してみてください。

まちづくり協働推進会議について

まちづくり協働推進会議とは、市長をはじめ、市の管理職とまちづくり委員会の代表との意見交換の場であり、年2回行われています。

去る7月31日に開催された今年度の1回目の会議では、昨年の市民会議で2度テーマになった「防災」について、ワークショップで出された意見などをもとに、市長へ提出した提言内容について意見交換を行いました。



全国的にも防災の見直しが言われていますが、魚沼市のこれからの対応は……。

7月1日付けで危機管理監に就任された中川副市長より、下記のような説明がありました。

災害の検証結果は、専門的な知見も入れ検証する必要がある。また市民と情報を共有していく必要性は認識しているので、積極的に公開していきたい。

防災の専門家の育成については、短期間では育てにくいので、日常的な訓練の励行、マニュアル作り、行動計画の策定など危機管理に対する意識改革が必要である。

近年の想定外の災害に備えるため、市民に対する防災意識の啓発・醸成が不可欠である。自主防災組織が隣接する自治会と連携し、お互いに助け合うという取組を推進していくことも必要である。



第1回まちづくり協働推進会議

市民への避難勧告、避難指示等のタイミングは非常に難しい判断を要するが、発令のタイミング、初動体制も含め明確な基準を作成し判断していきたい。

防災組織のリーダーについては、地域や企業から参加していただいて防災士を育成したり、また職員の危機管理意識を醸成しながら対応していきたい。

等々。

市報でも防災関係の記事をよく見かけますが、基本は「自分の身は自分で守る。」だと思います。



魚沼市まちづくり委員会

参加者大募集

「交流・学び・実践で
自分づくりとまちづくり!!」

連絡先

魚沼市まちづくり室（魚沼市役所湯之谷庁舎）Tel 025-792-9752 / Fax 025-793-1016
E-mail chiiki@city.uonuma.niigata.jp
まちづくり委員会ホームページ <http://www.machidukuri-uonuma.com>

編集後記

暑い暑い夏が過ぎ、初秋の候となりました。

魚沼市は日本有数の豪雪地帯で、これほどの積雪量の地域にまとまった人口があるのは世界でも稀とのこと。一方、夏は本当に蒸し暑く、小出地域は最高気温を記録することも度々です。気候は人をつくるとも言われています。冬の寒さにも夏の暑さにも耐えて負けない我慢強い魚沼人—そんな印象が私の中にはあります。

しかし、我慢しないでいいこともあります。皆で話しあい、活動して、変えていけることや解決できることはしていきましょう。そんな場の一つに「魚沼市まちづくり委員会」を考えてもらえるといいなと思います。

まちづくり委員会だより編集委員 佐藤